

3年ぶりに開催された佐伯春祭りは今年から“さいき桜まつり”に名称変更となりました。昔から続く名物の佐伯藩大名行列。佐伯商工会議所青年部のメンバーが中心になっておこなわれました。先頭を行く奴頭は内田尚吾さん(50回生)です。



山崎舞鶴

発行 会
佐伯鶴城同窓会
会長 谷川憲一
編集 委員会
広報 委員
印刷 刷
(有) 岡 沢 印 刷

令和3年度

九州大学6名を含む
国公立大学
89名/198が合格!

110周年記念の寄付をお願いします

大分銀行 佐伯支店 普通預金 7685386
佐伯鶴城高校創立110周年特別会計 事務長 庭瀬継造

10
10,000円

▶ 寄付していただける方は、お名前と〇回生(〇年度)をご記入ください。

馬場の松



一九九〇年 高校時代
授業中 先生の話に耳を傾ける事よりも部活のテニスと昨夜のFM OITAの番組の方が気になって仕方がなかった
一生懸命生徒に向き合ってくれていた先生方の生きた言葉を右から左
定期テストの後は補講だらけ
当然の結果
僕はラジオDJになるんだ!
そう心に誓った
高校一年生の春
不安や壁など感じない
まっすぐすぎる15の僕

それから11年後の26歳
いろいろな方のおかげ様で
FM OITA でマイクの前に
15歳から30年と少し
先生方のおっしゃっていた
予習 復習の毎日
今さらながら実感
小さな積み重ねが明日を作るのだと
うれしいことに地元ケーブルテレビ佐伯
ともご縁をいただき
ロケ中に
「いつも美味しいもの食べていいなー
見ちよんで〜」と
佐伯の人生の先輩から
熱烈な声も!
本当に感謝
あんなに苦手だった走る事も
気がつけばフルマラソン3時間7分!
右から左に聞いていた授業
一番大切な心構えはしっかり学べていた
のかも
鶴のように飛べませんが
ヤンバルクイナのごとく
これからも地元大分で
マイクを持ってかけぬけます!
諸先輩後輩方々
人生、
NOW
ON
AIR!!
久保田 吉文
(高46回生)



創立一一〇周年を迎えて



同窓会会長
谷川 憲一

本校が県南佐伯市の産業、文化、教育の拠点として明治44年（一九一一年）に創立して一一〇周年を迎えたことは誠に喜びに堪えません。

前小寺会長にお誘い頂き副会長として10年間、昨年度より同窓会会長として一一〇周年を迎えましたことを誠に光栄に存じます。同窓会を代表しまして一言ご挨拶を申し上げます。

本校の同窓会は、関東、関西、福岡、大分にあり、同窓会は会員相互のネットワークづくりと共に、各地域社会の経済、産業発展に寄与し、在校生の学業支援と優秀進学校としての基盤確立を目的としています。学業のみならず、将来の地域社会「故郷佐伯」を背負っていく人づくりも担っています。今回の一一〇周年記念を晴れて祝うことができ、役員一同大変喜ばしく誇らしく感じているところではあります。

体の調和のとれた、次代を担うリーダーの育成に力を入れ、県内でも有数の進学校であり『自治・信愛・剛健』を校訓に勉学と人格を涵養していると聞いています。

また、文部科学省のSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）の認定を受け、日本を代表する人材を輩出しようとの意気込みは、多くの在校生の励みになっていることとでしょう。これからの佐伯市にとって20年、30年後を背負っていく若者がどれだけいるかが、非常に大切なことだと思います。

市・県外に進学や就職し、多くの経験をして卒業後または就職経験後に佐伯市に戻ってくる若者を期待し待ち遠しく思います。

また佐伯市にどのような企業があるかわからない生徒や保護者の皆様への広報活動として、SSHの探求課題として地元の魅力ある企業の説明会を、商工会議所、商工会を中心として毎年開催しています。

一一〇周年の伝統を大切にしつつ、さらなる将来の「故郷佐伯」を背負っていく人材育成の核となるべく邁進に期待し、ますます地域に愛される学校となられることを願っております。

昨年の一一〇周年記念式典等の事業は、コロナ禍で今年に延期となりましたが、かわりをもつことができ大変光栄であり、すべての関係者の皆様にお礼を申し上げます。

大分県立佐伯鶴城高等学校の益々の発展と、皆様のご健康とご多幸を記念して、私の挨拶とさせていただきます。

真帆片帆

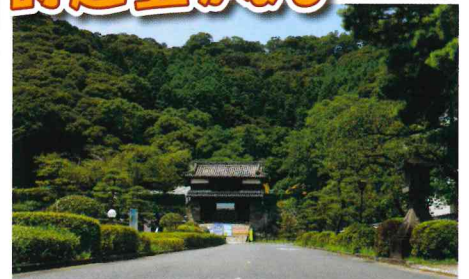
「創立一一〇周年を迎えて」



四月に着任した加藤です。創立百十年ということができ、とても光栄に思っています。着任した最初の日、馬場の松に迎えられるか心が落ち着いていくような温かみを感じたのを覚えています。また、生徒に初めて会った日の「挨拶」と「清掃」の素晴らしさは忘れることができません。

今まで多くの学校を見てきましたが、生徒が「挨拶」や「清掃」を、これだけ自然にできるのを見るのは初めての経験でした。私は良く校舎内を歩き回るので、出会った生徒が笑顔で挨拶してくれる姿にいつも元気をもらっています。私は常々、言葉には温度があり、特に挨拶の言葉は心を温かくしてくれるものだと思います。温かい言葉に溢れた学校、それが私の佐伯鶴城高校に対する印象です。

詩趣豊かなる



取り壊しの始まった佐伯文化会館

さて、本校は、World Citizenとしての自覚を持ち、地域を愛し、能動的に社会を支える人材を育成することを教育目標に掲げており、またSSH指定校として、未来を創生する科学技術系人材を育成するとともに、地域の核として活躍する人材を育成することを目標としています。共通するのは「地域」というキーワードです。現在本校では各教室に電子黒板が配置され、生徒や教師がタブレットを用いた授業が行われるなど、様々な変化が起きていると思います。しかしながら時代の変化に対応しつつ、今後も「県南の雄」としての伝統を継承し、地域とともにある学校として期待され信頼される学校にしていきたいと思います。

先日中庭で、恒例のクリスマスコンサートがありました。その際同窓会の方々から来てくださり、クリスマスプレゼントを生徒・職員全員に渡してくださいました。同窓会の方々の本校に対する思いや優しさに触れ、またまた心が温かくなりました。今後も佐伯鶴城高校のさらなる発展に向け尽力したいと思いますので、よろしくお願いたします。

（昨年寄稿された原稿をそのまま掲載しております。）

健児の^{ゆく}前途

渡邊^{ひでのり}英徳 (高45回生)

日常と夢が紡ぐ未来

私は1974年生まれです。高校時代は、火葬場のある峠を自転車ですべて乗り越えて通っていました。佐伯の街も時代に合わせてどんどん進化しており、いまは、あの道をわざわざ自転車で通学する生徒さんはいないかも知れません。スマートフォンやGoogleマップのような便利なツールはもちろんです。自分でも地図を調べながら、サイクリングにでかけたものです。



在学中はとくに物理と美術が好きで、美大受験も視野に入れてデッサンの練習などもしていました。最終的には、理数系・芸術のどちらの能力も活かせると考え、東京理科大学の建築学科に入学しました。大学ではCAD（コンピュータ援用設計）を活かした設計課題が得意で、卒業設計賞をいただいたりもしました。その後、大学院在学中にソニー・コンピュータエンタテインメント（現：ソニー・インタラクティブエンタテインメント）のゲーム開発チームに参加し、学生兼業で、ゲームに登場する建築・都市の「設計」の仕事を始めました。

その後、仲間たちとゲーム開発の会社を起業しました。ただ、おそらくビジネスは不得手だったということでしょう。業績はあげられませんでした。社長と兼業で、美大や美術学校の講師を務めていたことから、2008年、首都大学東京（東京都立大学）の准教授に着任しました。大学では、戦争・自然災害など過去の災いを記録するデジタル地図のアーカイブを研究。「ヒロシマ・アーカイブ」「震災犠牲者の行動記録」などを発表し、一定の成果として認められることになりました。2018年に東京大学大学院の情報学環に教授として移籍し、モノクロ写真のカラー化による「記憶の解凍」などに取り組み、現在に至ります。いま、佐伯鶴城高のスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員も兼任しています。

高校時代に物理と美術が好きだったことから、建築を学ぶことになりました。そして、大学でCADの技術を知り、ゲームに登場するCGの空間をデザインすることに。さらには、高校時代に地図をみながらサイクリングした経験が、いま研究しているデジタル地図のプロジェクトにつながっているのかも知れません。

若い頃の日常と夢は思わぬ布石となり、未来の自分を紡いでいきます。在学中のみなさんも、未来の自分をイメージしながら、日々を過ごしていただきたいと思います。



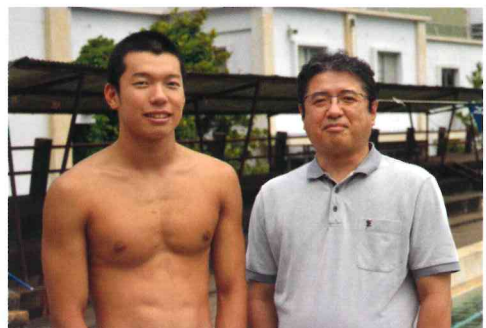
この夏はインターハイ優勝です！将来の大きな夢は世界で1番になることです！

Q1 高校生活でがんばっていることを教えてください。
 A 部活動（水泳部）です。日曜日以外の週6日泳いでいます。毎日五キロメートルは泳ぎます。

Q2 これからの目標を教えてください。
 A この夏はインターハイ優勝です！将来の大きな夢は世界で1番になることです！

Q1 高校生活ではどんな思い出がありますか？
 A 文武両道がモットーの佐伯鶴城高校ですが、私はいわゆる帰宅部でした。勉強は頑張っていたと思います。鶴城祭や修学旅行、マラソン大会など学校行事は楽しかったです。

Q2、入江先生にとって鶴城とは？
 A 青春時代の3年間を過ごした母校ですし、息子たち4人を育ててくれた高校でもあります。これからも引き続き、同窓生としても誇れる「県南の雄」であり続けて欲しいと思います。



プロフィール

入江崇也さん (40回生)

九州大学医学部卒業、33歳のときにUターンして長門記念病院へ就職。
 現在は長門記念病院 副院長。

入江崇也さん (佐伯鶴城高校3年)

戦績 (種目はすべてバタフライ)

〈2020〜2022年 大分県高校総体〉

100m 3連覇 200m 3連覇

〈2021年 インターハイ〉

200m 8位

〈2022年春 ジュニアオリンピック〉

100m 2位 200m 3位

〈2022年 大分県選手権〉

50m優勝 100m優勝 200m優勝

同窓会費ありがとうございました!!

【令和3年度 会費納入者数】

(2022年3月31日現在)

回生	年齢	納入者
高校 73	19	0
高校 72	20	0
高校 71	21	0
高校 70	22	0
高校 69	23	0
高校 68	24	1
高校 67	25	0
高校 66	26	0
高校 65	27	1
高校 64	28	2
高校 63	29	0
高校 62	30	0
高校 61	31	1
高校 60	32	0
高校 59	33	1
高校 58	34	1
高校 57	35	0
高校 56	36	3
高校 55	37	1
高校 54	38	0
高校 53	39	0
高校 52	40	0
高校 51	41	1
高校 50	42	0
高校 49	43	0
高校 48	44	1

回生	年齢	納入者
高校 47	45	1
高校 46	46	3
高校 45	47	1
高校 44	48	2
高校 43	49	2
高校 42	50	3
高校 41	51	2
高校 40	52	10
高校 39	53	2
高校 38	54	5
高校 37	55	7
高校 36	56	5
高校 35	57	6
高校 34	58	4
高校 33	59	9
高校 32	60	9
高校 31	61	13
高校 30	62	6
高校 29	63	14
高校 28	64	12
高校 27	65	7
高校 26	66	7
高校 25	67	7
高校 24	68	9
高校 23	69	11
高校 22	70	9

回生	年齢	納入者
高校 21	71	19
高校 20	72	17
高校 19	73	15
高校 18	74	19
高校 17	75	21
高校 16	76	23
高校 15	77	16
高校 14	78	20
高校 13	79	27
高校 12	80	22
高校 11	81	17
高校 10	82	14
高校 9	83	17
高校 8	84	18
高校 7	85	16
高校 6	86	14
高校 5	87	14
高校 4	88	11
高校 3	89	15
高校 2	90	4
高女 1	91	1
高女 36	92	2
高女 35	93	7
高女 34	94	3
高女 33	95	2
高女 32	96	4

回生	年齢	納入者
高女 31	97	0
高女 30	98	1
高女 29	99	1
高女 28	100	1
高女 27	101	0
高女 26	102	0
高女 25	103	0
高女 24	104	1
高附② 24	91	1
昭 23	92	0
高附② 23	92	1
昭 36	91	0
高附昭 35	92	0
中学 34	93	2
中学 33	94	4
中学 32	95	4
中学 31	95	1
中学 30	96	3
中学 29	97	2
中学 28	98	0
中学 27	99	0
中学 26	100	1
中学 24	102	1
旧職員	-	0
合計		391

※数字には多少の誤差がありますので、ご了承ください。

1 高校13回生(昭和36年卒)
ダントツで1位定着!

2 高校16回生(昭和39年卒)

3 高校12回生(昭和35年卒)

同窓会費はいつでも受け付けています。

同窓会費はこちらまで

年会費 3,000円

【加入者名】 佐伯鶴城同窓会

ゆうちょ銀行

【口座記号番号】 01740-6-47995

【住所】 〒876-0848 佐伯市城下東町7-1

会費は母校のために使わせていただいております。

ただし、終身会費として、下記のような納め方もあります。

終身会費

現在70歳から79歳の方は、20,000円

現在80歳以上の方は、10,000円

- 大学訪問交通費支援
- 「鶴城未来塾」(同窓生を講師にした講演会)の支援
- リーダー育成奨学金
- 部活動の補助
- 休日自主学習を指導する教職員に日当支援
- 予備校活用援助(特別講師の招聘、教師の研修・生徒派遣)等
- 会報の発行・送付

今昔を比べながらも改めて思う
 気持ちは「佐伯大好きだな」。

佐伯と鶴城と昭和の時代。
 ここだから、あの時だからある
 「くだらない思い出」。

くだらない思い出こそ、忘れられ
 ない最高の思い出。

今あるのは、感謝の気持ち「あ
 りがとう」です。
 (高49回生)

あの頃だから見えていた故郷と、
 今だから見える故郷。

そんな鶴城での高校時代を過ご
 し、大人になり佐伯にリターン。

最高学年の三年生では受験勉強
 と称して友達と集まり大きな声
 では言えないようなことをやっ
 ていた気がします。

二年生になると流行っていたス
 ラムダンクの流川楓のマネをし
 て韧带断裂からバスケット部をリタ
 イヤ。

一年生の頃は友達と中庭の池に
 落としあい先輩や先生に怒られ
 る。

運ぶ機会も増え、同じく高校時
 代を思い出すことも増えていき
 ます。



新たに佐伯
 鶴城高等
 学校の広
 報委員と
 なりました
 (たぶん) 49

